



# 新聞配達をしながら防犯の目を

**はじめに** 今回は、日本

海新聞社西部郡店会所属の町内三店主の皆さん（高橋・遠藤・篠原の各氏）に「地域見守り活動支援事業」の取り組み状況をお聞きしました。

**質問** 地域見守り活動ということ、鳥取県と協定されましたが、その経過と趣旨をお聞かせください。

**篠原** 年に三百六十日新聞配達する中で、防犯や見守り活動など、地域に何か役に立てないかと日本海新聞社が提案し、実現しました。

**質問** この事業を始めるにあたって、どんな取り組みをされましたか。

**篠原** 警察の協力をいただいで防犯の講習を受けました。「不審車両を見かけたら下四桁を覚えなさい。電灯のつきかたが普段と違うかどうか確認して下さい。」等防犯のポイントを教えていただきました。

**質問** 今まで郵便局・農協・自治会がやってきた

地域活動の一端ですね。実際に取り組みされて、どんな苦労がありましたか。

**高橋** 毎日のことです。少しの変化に気づきます。あるはずの車がしばらく



新聞配達の朝は早い…  
(町内午前3時)



くなくったり、新聞入れに新聞が溜まっていると「留守か病気でではないか」と心配したりします。

ある日路上で酔っばらいに注意したら、逆ぎれされました。また車上ねらいを通報

し、つかまえた事例や早朝火災の発見もありました。

**質問** 今後の方針は。

**遠藤** 職業柄、必ず同じ場所を通ります。小さな取り組みですが、「見守り」には最適だと思います。続けていきたいです。

しかし、配達員の確保、冬場の配達、配達距離など、経営的にきびしい面もありました。新聞を続けて購読していただければありがたいです。

**おわりに** 地域貢献活動の衰退が言われる中、じみちな取り組みですけど大きな効果が期待されます。交通事故がないよう頑張ってください。本日はありがとうございました。

## インタビュー参加者

- 二部販売所 高橋 一広さん
- 岸本販売所 遠藤 裕喜さん
- 溝口販売所 篠原 天さん

## 編集後記

現在、小中学校統廃合問題が論議されている。教育委員会は現在、八校ある学校を三校に統廃合。その結論を十二月に出すとしている。

教育とは、住民のもの。「夢」と「希望」と「未来」です。

「子どもが少なくなる」と、二十五年先までの予測をたてた住民説明会。参加した周辺住民、保護者からの悲痛な声と、あり方検討委員の中から

も、「少なくとも、地域に学校を残す方針だった。」「十七回もの協議は何だったのか」との発言に、教育委員会はどう応えるのか。慎重な審議が求められる。(福田千富美)

## 【編集】

- 議会広報特別委員会
- 委員長 大森 英一
  - 副委員長 渡部 勇
  - 委員 福田千富美
  - 委員 幸本 元
  - 委員 勝部 俊徳
  - 委員 篠原 天

「議会だより」に対するご意見をお待ちしております。

